俺は妹の
淫行を見ないわけじゃない
Child Maid
20 10. 11.2

http://childmaid.x.fc2.com/

「へぇ、あたしが出てる雑誌、
全部チェックしてくれてるんだ～。
それじゃひょっとして、
あたしの写真でエッチな妄想したりとか
しちゃってたわけ？」

「いいよ、し・て・あ・げ・る っ。
その代わり、今から5分間、
あたしの手コキに耐えなさい。
我慢できなかったら罰ゲームよ」

「いやだぁ、もう、
なに膨ヒクヒクさせてんの、
早すぎじゃない？
ほら、もっと唾液垂らして上げるっ、
シコシコ～ってね」

http://childmaid.x.fc2.com/

「・・・ひゃうっ！
だ、出したわね。
しかもあたしの顔に
ぶちまけて！」

「嫌だぁ、
髪の毛にも付いちゃってるし、
服にまで飛び散ってるっ。
ううう最悪、
よくもやってくれたわねッ」

「ーへ？ ごめんって、
いいのよ謝らなくても、
あれたはただ、日頃あたしが溜め込んでる
イライラの発散を手伝ってくれれば
良いだけなんだから」

「何するの？ って、ふふ、
ナニをして欲しい？
残念だけど、
気持ちの良いことは
できないわねぇ。
そうだ、いいこと思いついた」

http://childmaid.x.fc2.com/

「こらっ、暴れるな！
あんたは大人しくされるがままに
していなさい！」
「ほらほら、
いつもあたしの写真見て
オナってるときはこの指に
見惚れてたんじゃないの？」

「いいじゃない、
お望み通り突っ込んで
あげてるんだから。
気持ち良いんでしょう？
ほらほら、
このまま根本まで
入れちゃうわよッ」

「ふふ、ありがとう、
楽しませてくれて。
もう勃起なんてする余裕も
ないだろうけど、安心して、
あたしは一人でやれるから」

「はぁ・・・きゃふぅ、
この匂い、癖になりそう。うっ、
はぅ・・・はぁ、はぁっ。
久し振りにエロゲー以外でイケそうだわ」

「もしイケなかったら、
もう一回入れさせてもらうからね。
逃げようとしたって無駄なんだから、
覚悟なさい」

http://childmaid.x.fc2.com/

「何よ、まだ勃起する余裕があるんじゃない。
仕方がないわね、あんたがそんなにやりたいなら、
入れてあげるわよ」

「あんっ、はぁ、硬いのが・・・奥までっ。
いいっ、良いよ、このまま激しく突いて上げるぅっ」

「尿道が痛い？　そんなの知らないわよっ、
あたしが気持ちよくイケればそれで良いんだから！」

http://childmaid.x.fc2.com/

「足の裏でクチュクチュ音を立てる。
感じているの？
そう、それはなによりだわ」

「エロゲーなんてやらなくても、
こういうプレイぐらい
知ってるってことを
証明してあげなければね」

「射精したら桐乃にメールで送ってやるわ。
本物の男性器を目にしたらきっと驚くわね」

「え、もうイクの？
ちょっとお待ちなさい、
今、カメラの準備をっ」

http://childmaid.x.fc2.com/

「妖気を張って居たとはいえ、油断したわ」

「服が・・・ベトベトじゃない、染みになったらどうするつもり」

「この臭を突く異臭と粘性は憎悪を呼び起こすわね。少々、反省を促す必要があるかしら」

http://childmaid.x.fc2.com/

http://childmaid.x.fc2.com/

「予定変更、
急所を責められて
苦しんでる姿を
撮影してあげるわ」

「喚いても無駄よ。
まぁ、このコリコリって感触、
癖になりそうね。
それに、意外と脆そう。
これなら私の力でも・・・」

「暴れないでって
言っているでしょう。
次におかしな真似をしたら
潰すわよ」

「安心なさい、
苦しまないように、
一瞬で終わらせて
あげるから」

「きゃっ・・・や、やめて、やめなさい！
小柄だからって甘く見ないでちょうだいっ、
本当に呪うわよ！」

「はぅう、硬いのが、
入って、入ってくるぅ・・・
はぁはぁ・・・くっ、
こんなの、同人誌でしか有り得ないわ。
まさか私自身がこんな目に遭うなんてッ」
「さっきは冗談のつもりだったけど、
次は本気で潰すわ。
逃げられるとは思わないで頂戴、
射精したら最後、本気で握りつぶすから！」

http://childmaid.x.fc2.com/

「いやっ、やめ・・・
ぐむっ、ゲホッ・・・な、
なんなのあんたたちっ、
ぶち殺すわよ！」
「きゃあっ、なによこれぇ、
体中ベタベタじゃないっ」
「こんなキモオタにやられるなんて、
最悪だわ！」
http://childmaid.x.fc2.com/

http://childmaid.x.fc2.com/

「うわっ、何、コイツ、
潰されて射精してる。
このおぞましい肉の塊に
まだ精液が残って
いたなんて・・・
あれだけわたしに
飲ませておいて。
気持ち悪い、もっと、
ぐちゃぐちゃに
してあげるわっ」

「あ、あやせ、
落ち着いて。
二つ同時に握り潰したから
残りの精子が押し出されたんだよ。
ほ、ほら、もう良いじゃん、
コイツ捨てて来ようよ。
ほら、もう形もなくなってるし」

「ふん、分かったわよ。
終わりにしてあげる、コイツはね。
次の奴連れてきて、
拘束してるんでしょう？
今度はわたしのはじめてを奪った奴よ。
あの醜く屹立した陰茎を
つぶしてやるんだから！」

http://childmaid.x.fc2.com/